

令和2年度 箱根町町政モニター第5回アンケート調査結果

1 調査概要

○ 調査テーマ

第6次総合計画後期基本計画の策定に係る調査

○ 調査理由

町では、『やすらぎとおもてなしのあふれる町ー箱根』の実現を目指し、箱根町第6次総合計画に基づき様々な施策を推進していますが、同計画の前期基本計画が令和3年度に終了することから後期基本計画(期間:令和4~8年度)の策定作業を進めており、その一環として、箱根町の課題など、まちづくりに係るアンケート調査を実施しました。

○ 回答期間

令和3年2月1日(月)~2月7日(日)

○ 対象者

箱根町町政モニター 46人

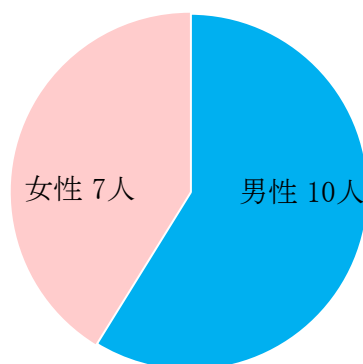
○ 回答者数(回答率)

17人(約37.0%)

○ 回答者の基本属性

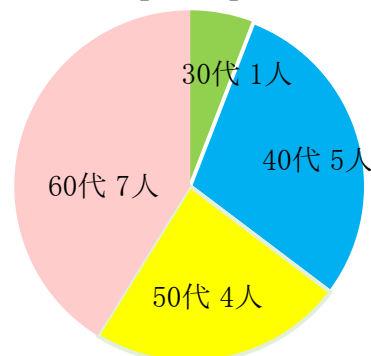
性別	回答者数	割合
男性	10	58.8%
女性	7	41.2%
合計	17	100.0%

【性別】



年齢	回答者数	割合
20代	0	0.0%
30代	1	5.9%
40代	5	29.4%
50代	4	23.5%
60代	7	41.2%
合計	17	100.0%

【年齢】



### ○ 箱根町の課題・地域資源や、今後のまちづくりについて(質問[1], [2], [6])

課題については、観光業や交通関係に係る意見を多くいただきました。観光業は、既存の観光資源に捉われない新たな観光スポットやレジャーの提案、人材育成や事業者間の連携が必要等の意見、交通関係は、渋滞問題や道路整備、交通費に係る意見を多くいただきました。

地域資源は、自然や温泉等に加え、様々な観光資源の意見をいただきました。意見等の詳細は、4～9ページを参照ください。

今後のまちづくりについては、民間活力を取り入れた新たな取組みの提案、自然環境の景観保護、町民参加のまちづくりに係る意見をいただきました。

意見等の詳細は、12ページを参照ください。

### ○ SDGs<sup>※</sup>の目標と、箱根町の取り組むべきことなどとの関連について(質問[3]～[5])

SDGsについて、「内容まで理解している(35.3%)」、「イラスト・ロゴは見たことがある(11.8%)」、「名称は知っている(23.5%)」が合わせて約7割となり、多くの方に認識されていることを確認できました。

また、SDGsの17のゴールのうち、今後、町が重点的に取り組むべきことで選択数が多かった上位3件は、「11 住み続けられるまちづくりを」(10件)、「3 すべての人に健康と福祉を」(5件)、「4 質の高い教育をみんなに」(5件)でした。選択した理由は、「11住み続けられるまちづくりを」は、少子高齢化や人口減少が進む中での生活に対する不安の解消、「3 すべての人に健康と福祉を」は、健康を維持するための取組み、「4 質の高い教育をみんなに」は、教育の質の向上に係る意見等がありました。

選択理由の詳細は、11ページを参照ください。

※SDGs(エス・ディ・ジー・ズ)は、3ページを参照してください。

### ○ 総論

第6次総合計画後期基本計画では、SDGsの考え方を踏まえた内容を盛り込むため、町民の方々に理解を深めていただけるように、今後、SDGsの目標(ゴール)やターゲットを周知していく予定です。

















今回のアンケート調査で回答いただいた箱根町の課題や地域資源、SDGsのゴールとの関連に係る意見等を参考とし、後期基本計画の策定に活かしていきたいと考えています。

○ SDGs(エス・ディ・ジー・ズ)について

SDGs(Sustainable Development Goals:持続可能な開発目標)とは、2015(平成27)年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」で掲げられた、2016(平成28)年から2030(令和12)年までの国際目標です。

SDGsでは「地球上の誰1人として取り残さない」を基本理念に、経済・社会・環境の諸課題を総合的に解決し、持続可能な世界を実現するために、17の目標と169のターゲットが掲げられています。

【SDGsの17の目標(ゴール)一覧】

	<b>1. 貧困をなくそう</b> あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる		<b>10. 人や国の不平等をなくそう</b> 各国内及び各国間の不平等を是正する
	<b>2. 飢餓をゼロに</b> 飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する		<b>11. 住み続けられるまちづくりを</b> 包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する
	<b>3. すべての人に健康と福祉を</b> あらゆる年齢の全ての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する		<b>12. つくる責任 つかう責任</b> 持続可能な生産消費形態を確保する
	<b>4. 質の高い教育をみんなに</b> 全ての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する		<b>13. 気候変動に具体的な対策を</b> 気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる
	<b>5. ジェンダー平等を実現しよう</b> ジェンダー平等を達成し、全ての女性及び女性の能力強化を行う		<b>14. 海の豊かさを守ろう</b> 持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する
	<b>6. 安全な水とトイレを世界中に</b> 全ての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する		<b>15. 陸の豊かさも守ろう</b> 陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、並びに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する
	<b>7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに</b> 全ての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する		<b>16. 平和と公正をすべての人に</b> 持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、全ての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する
	<b>8. 働きがいも経済成長も</b> 包摂的かつ持続可能な経済成長及び全ての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する		<b>17. パートナリシップで目標を達成しよう</b> 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する
	<b>9. 産業と技術革新の基盤をつくろう</b> 強靱(レジリエント)なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る		

3 アンケート集計結果

[1]・[5]\* あなたが考える箱根町の課題は何ですか。重要と思うものを3つまで記入してください。  
 また、その課題は、SDGsの17のゴールのうち、どれに該当すると考えますか。  
 対応する番号を選択してください。(複数選択可)  
 ※[1]と[5]は関連する質問のため、同一表で集計します。

区 分	課 題	SDGs番号
観光業 (8件)	町の外（国内・国外）に強力にアピールできるものが無い。（温泉は質・量ともに強力にアピールできるほどではない。山は汚い）	11
	主要産業である観光産業に従事する人財の育成ができていない。特にホテル、旅館などの宿泊業は観光産業の中でも中核となる産業であるが、異動や退職、派遣スタッフの活用などで入れ替わりが激しく、将来観光を支えていく人財が育っていないと感じる。	1, 4, 8
	観光資源の整備や発掘、開発ができていない。箱根は日本を代表する観光地であるにもかかわらず、神社、関所、大涌谷、芦ノ湖以外の有望な観光スポットがなく、新たな観光スポットの開発もできていないと感じる。今後、古くからの宿が所有している歴史的な建造物の有効活用や大平台地区の活性化、精進池周辺の整備が必要ではないかと考える。	8, 9, 11
	横の連携ができていない。箱根の観光を支えている事業者間の連携ができれば、箱根山中での回遊性も高まるのではないかと考える。	8, 11, 17
	観光産業の衰退化支援	回答なし
	在来型の温泉と宿泊に依存する産業構造の枠を拡大し、レジャーを楽しめる地域への発展・拡大が必要だと思います。既存の観光威厳に依存するだけでは、すでに限界があります。 例えば、「夏は芦ノ湖でスイミングのための浜辺の整備」「人ロスノーボード場の再整備」「湖尻に遊園地（エバンゲリオンがテーマ）」「早川での川下り」「高尾山をモデルにした金時山ロープウェイ」などなど	9, 17
	私は、強羅に住んでいますが、駅付近のお店には、活気魅力が、感じられません。リニューアルが必要では。ユニバーサルトイレ、ベビーカー貸出、観光案内コンシェルジュ配置、観光地に必要ではないかなど。また、湯本付近に町内運営のパーキングを増やして欲しいです。町在住者には、30分無料などの特典付きなど。お得感を感じれるものがあると、少しは移住にも繋がるのでは。	5, 13, 16
	コロナ禍によって減少した観光客数の回復。まだ時期尚早ですが、観光業へのダメージは計り知れない為、対策が必要。	8

区分	課題	SDGs番号
交通関係 (7件)	湯本駅前通りの、信号の無い2つの横断歩道を延々と渡り続ける観光客が交通をストップさせて起きている大渋滞が多くの問題の根源です。基本計画の以下の施策の妨げになっています。 17道路・交通網の充実、21地域交通の利便性の確保→渋滞で動かなければ意味がない。 23自然環境の保全→渋滞で滞留する排ガス問題。 25防災対策の推進、26消防・救急対策の充実、27交通安全・防犯→緊急車両通れず。	9, 11
	公共交通機関の交通費が高い	1, 3, 7, 9, 10, 11, 13, 16
	国道一号線（箱根湯本）の車両渋滞問題。湯本付近の横断歩道がある限り、渋滞は解消されない。	11
	雪害問題。雪が降った際、ノーマルタイヤの観光客がスタックし、除雪を妨げ道路の普及を妨げている。他県のように、ノーマルタイヤの車両は絶対に箱根に入れさせないよう完全規制してほしい。	11
	中途半端。観光に力を入れてるといってもなく、住民重視のまちづくりでもない感じがする。どちらにしても道路整備は必要。狭い道路が多いので右折禁止箇所や押ボタン信号(特に湯本)などで歩行者のコントロールもないから常に自然渋滞とか無策ではないか、大平台駅前から湯本駅まで車で40分以上を数回経験したのが良い例。	9, 12
	道や共有地の整備。道が狭いのは仕方ないですが、灯りが乏しいと思います。また他の観光地は整備されつつあるのにもったいないと思います。また湯本駅前の裏道に止まっている車が毎回同じなのが不思議です。	11, 12, 16
	住居地確保、交通利便性の住居不足だと思います。また住んでからも生活するのに足が必要で車での移動もしくは電車バスとなるが、小田原往復で600円/人は高額すぎる。	4, 11
環境保全 (4件)	すでに対策をなされていると思いますが、カシノナガキクイムシによるナラ枯れ被害の拡大で、道路沿いに危険木が多く発生しています。倒木で通行人・車に被害が出る前に伐採をしないとなりません。また、景観も台無しです。道路は県土木の管轄かと思いますが、県と連携して上手に勧めただけですと幸いです。	15
	自然エネルギーの活用	3, 11
	ゴミの削減	4, 11, 12
	自然環境保護	15

区 分	課 題	SDGs番号
空き家 問題 (3件)	空き家が多い。	11
	空き家活用	18 (該当なし)
	空き家、空き地、空き施設をいかに有効利用し、町の収入に繋げるか。	3, 7, 8, 11, 13, 15
町民の 減少 (3件)	少子高齢化や生活の不便さから居住者が増えない事	1, 3, 4, 8, 11, 13
	町民数の不足です。税収に関わる部分であるが、観光業従事者等は住民登録を移さない為、町民登録数は減る一方。	11
	移住者獲得に対してのアプローチやアピールに対しての熱意または対策が他県の観光地に比べると、力を入れてないように感じます。温泉地としては魅力もあり、ランキングでは上位なので、勿体ないとさえ思います。このコロナ禍にあって、小田原や湯河原には移住で転入者が増えているというニュースを、目にしました。箱根町には何が足りないのか、調査、統計をし町民の意識改革も必要なのかなと。	7, 11
町財政 (2件)	以前からも伝えていますが、財政難を立て直すのに、減り続ける固定資産税にいつまでもこだわっては先がありません。発想を転換して、メインの収入源を、減ることのない観光客に求めないと根本的な解決になりません。観光立国箱根町の強みを生かして、観光税の導入を提案します。鉄道は小田急と連携し、道路はロードプライシングの導入です。箱根は流入路が少なく導入しやすいです。小手先対応では絶対に事態は好転しません。	3, 8, 11
	観光産業への依存度が高いので観光客が減少すると、町財政に影響が及び財政が厳しくなる	8, 9
子育て 関係 (2件)	子供の教育環境の改善	3, 4, 10, 11, 16
	子供がいない。(湯本は別)	11
少子 高齢化 (2件)	少子高齢化対策	11
	高齢者の相談窓口	18 (該当なし)



区 分	課 題	SDGs番号
医療・ 介護 (2件)	医療の充実	回答なし
	医療機関の不足・介護施設の不足です。高齢化社会が進み、コロナ禍で他地方への通院が難しくなっているため、町内施設の充実化が必要。	3
企業誘致 (2件)	箱根の誘致活動	18 (該当なし)
	産業誘致を進めることが、諸課題解決につながると思います。ワーケーションやリモート業務等が推奨されていますが、箱根の立地が優位性があると思います。企業の保養施設も未活用の施設は多く、ホテル等の活用も可能です。問題は、利用者、企業の誘致ですが、町が率先して行うべきではないでしょうか？ docomoの計画では、5G整備が箱根町は相当遅れそうです。政治的に対処して。いただきたい課題です	4, 8, 9, 17
文化財保護 (1件)	歴史的物件の保存	3, 7, 11, 12, 13, 15
騒音問題 (1件)	騒音問題 (暴走オートバイ、選挙カー等)	3
広聴 (1件)	町民の声をきく	16
防災等 (1件)	自然災害への対策、道路の再整備 (特に渋滞対策)、早川の浄化・底上げ (芦ノ湖からの常時放流等) の対策は必要だと思います。台風や老朽化とうにより、箱根町が汚く、危ない街になっていくような気がします。コンセプトは、「美しく且つ安全な街」です。	7, 11, 13
その他 (4件)	難しいのかなと思いますが、地場産業が、観光、温泉、地物という魅力的な部分がないので、道の駅らしいものがないため、地元の方との交流する場所がないのが、残念です。日帰り温泉も、老朽化している施設しかなく、セレブな旅館では、経験出来ないような地元の方と、接点を持てる憩いの場があると、ないのとでは、違うような気がします。	3, 7, 15
	テレワーク受け入れ促進策が不明	11
	一人一人の生活を守る	11
	議員や町長等のボーナスの見直し	3

[2]・[5]※ あなたが考える箱根町の地域資源は何ですか。重要と思うものを3つまで記入してください。  
 また、その地域資源は、SDGsの17のゴールのうち、どれに該当すると考えますか。  
 対応する番号を選択してください。(複数選択可)  
 ※[2]と[5]は関連する質問のため、同一表で集計します。

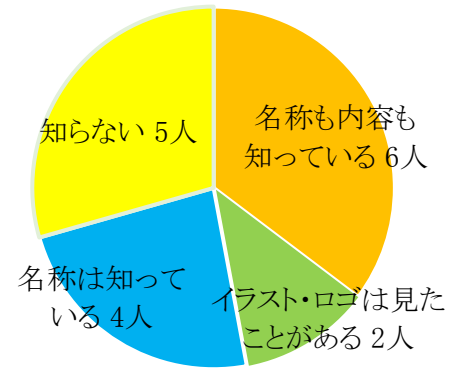
区 分	地域資源	SDGs番号
自 然 (10件)	自然	3, 6, 7, 11, 15
	寄木細工が出来たほど、種類の多い木がある (あった?) 山。	15
	自然	回答なし
	自然環境	18 (該当なし)
	自然 山 登山道	18 (該当なし)
	自然	3, 6, 11, 12, 13, 15
	自然	15
	山林に囲まれているので、豊かな緑化地域資源。	13
	自然の造形美。大涌谷やススキ野原。	7
	自然	11, 13, 15
温泉等 (9件)	温泉。	18 (該当なし)
	温泉	15
	様々な泉質の温泉	8, 9, 11
	温泉	3
	温泉(地下熱含む)	9
	火山地域の恩恵である温泉資源。	15
	温泉	13
	温泉や自然豊かな景観	7, 13, 15
	温泉、箱根山	18 (該当なし)



区 分	地域資源	SDGs番号
観光等 (5件)	宿のおもてなし	1, 8, 11
	観光	8
	観光資源	8
	豊富な観光地等による観光資源。	9
	観光と温泉の質が高いと思います。	1, 5, 16
歴 史 (4件)	歴史的な建造物。特に古い宿が所有している建造物	8, 9, 11
	杉並木、旧東海道、関所等歴史的保存する	18 (該当なし)
	歴史的遺産	18 (該当なし)
	歴史	11, 12
景観等 (3件)	芦ノ湖とスカイラインからの眺望	15
	芦ノ湖や富士山島の眺め	13
	大涌谷や芦ノ湖や旧東海道をはじめとする多彩な景観と自然。そこに絡む登山鉄道、ケーブルカー、ロープウェイ、登山バスなどの交通網インフラ。	15
知名度 (3件)	箱根に行ってきたと言える無形のステータス → 普遍的で廃れることのない尊いイメージ。	15
	圧倒的な知名度。誰もが一度は訪問したことがあるという強み。他の温泉地（熱海、伊豆、草津等々）と比較して、知名度は圧倒していること。	9, 11
	観光地としての知名度の高さ	8, 9, 12
交通等 (3件)	東京へのアクセスの良さ	11
	都会から日帰り旅行できる、利便性の良さ	7, 9, 11, 15
	東京、横浜から、日帰りできる身近な観光地であること。芦ノ湖、大涌谷及び其処に行くための登山電車やロープウェイが、強力な地域資源だと思います。	14, 15
その他 (2件)	箱根駅伝	3, 10
	エコ	3

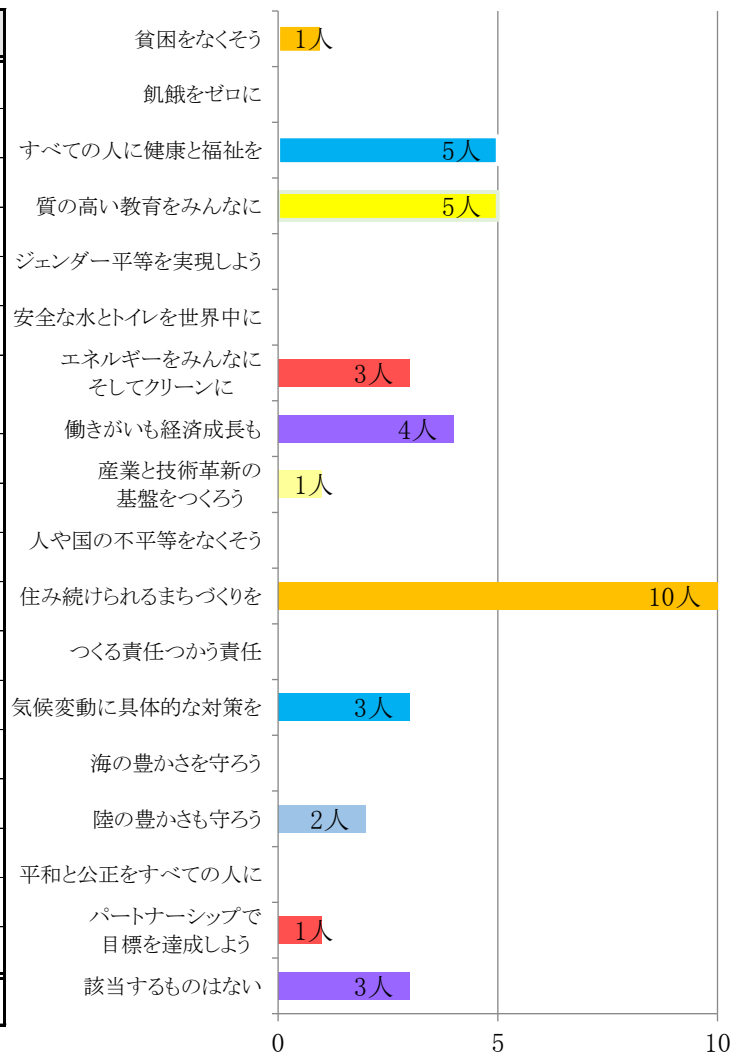
[3] SDGs(持続可能な開発目標)を知っていますか。

選択項目	回答数	割合
1 名称も内容も知っている	6	35.3%
2 イラスト・ロゴは見たことがある	2	11.8%
3 名称は知っている	4	23.5%
4 知らない	5	29.4%
合計	17	100.0%



[4] SDGsの17のゴールのうち、今後、箱根町は何を重点的に取り組むべきだと思いますか。3つ以内で選択し、その理由を記入してください。

選択項目	回答数
1 貧困をなくそう	1
2 飢餓をゼロに	0
3 すべての人に健康と福祉を	5
4 質の高い教育をみんなに	5
5 ジェンダー平等を実現しよう	0
6 安全な水とトイレを世界中に	0
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	3
8 働きがいも経済成長も	4
9 産業と技術革新の基盤をつくろう	1
10 人や国の不平等をなくそう	0
11 住み続けられるまちづくりを	10
12 つくる責任つかう責任	0
13 気候変動に具体的な対策を	3
14 海の豊かさを守ろう	0
15 陸の豊かさを守ろう	2
16 平和と公正をすべての人に	0
17 パートナリーシップで目標を達成しよう	1
18 該当するものはない	3
合計	38



選択した理由	
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 貧困をなくせば笑顔が増えます</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人間の生きる基本であるから</li> <li>・ 町長だから…とか関係なく平等に対応してほしい</li> <li>・ 健康年齢の維持</li> <li>・ 高齢化社会であるのに、町内の医療機関や介護施設が少ない。</li> <li>・ 町民の健康維持を掲げて下さい</li> </ul>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 他の地域に比べるともっと教育の質を上げられると危惧している</li> <li>・ 将来の観光を支えていく人財の育成</li> <li>・ 教育で、人を呼ぶことを目指します。対象は、社会人もシニアも…</li> <li>・ 少人数だからできる、目のゆきとどいた、学習環境と平常時の外国人観光客とのふれあいによるいきた外国語学習環境</li> <li>・ 住民の質の底上げ(自分を含めて)</li> </ul>
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自然あつての箱根街なので、地球環境問題には敏感になる必要がある</li> <li>・ クリーンな街「箱根」を実現する。</li> <li>・ クリーンなエネルギーはクリーンな環境を生み出します</li> </ul>
8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 働き甲斐のある観光事業の実現で人口減を食い止める</li> <li>・ 経済的な成長がないと町が荒んでいきます。人材・事業・企業の誘致を図る。</li> <li>・ みんなで幸せになりたい</li> <li>・ 箱根は頼る経済業種が限られてるので、充実を図るべき</li> </ul>
9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自然と空き地等を使った新たな産業の確立</li> </ul>
11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢になって免許を返納して買い物にも行けず、さらに病気にでもなったら…と、いう不安をなくして欲しい。</li> <li>・ 高齢化社会に必要なインフラをもっと充実して欲しい</li> <li>・ 雇用の確保</li> <li>・ 若い人がテレワークができる環境が整えられているか、特に子育て支援。</li> <li>・ いくつになっても、自然豊かな箱根に住み続けられる、生活支援</li> <li>・ 観光客によってゴミ増加では、本末転倒</li> <li>・ 医療体制充実して箱根町を終の棲家に</li> <li>・ 生活に不便、自然に囲まれる感覚も観光客に荒らされる</li> <li>・ 町民数の減少が激しいような感じがします。魅力ある街になって欲しい。</li> <li>・ 箱根で衣食住を満足させる</li> </ul>
13	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本全体に必要な事なので箱根町として率先して具体案を出すべきです</li> <li>・ 大雨対策を早急にお願いします</li> <li>・ 自然と共存</li> </ul>
15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 住宅地での樹木伐採が多すぎる</li> <li>・ 箱根町の豊かな自然維持</li> </ul>
17	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 箱根の活性化は全住民の結束が必要</li> </ul>

※[5]は、[1]・[2]とともに集計済みです。

[6] これまでの回答以外で、今後のまちづくりについてご意見等があれば記入してください。(自由記入)

区 分	一 覧
新たな 取組み	<p>町から、全国に対する発信が弱いのではないのでしょうか？既存の地意資源や評判・認知に満足しないで、新しいことに（人材育成、事業開発、企業誘致等）取り組んでほしいと思います。町長も代わったことですから、期待します。</p> <p>民間の資本力とアイデア、ICTを取り入れながら、自然の豊かさと景観を守り、新たな産業を産み出し、住みたくなる町づくりを目指してほしい。</p>
自然環境の 景観保護	<p>街並みの景観保護だけでなく、自然環境の景観保護を促進して欲しい。箱根町は別荘地が多いが、景観を甚だしく損なっている事例があるので、箱根をきれいにする条例を改正して、行政代執行という手段を取れるような強制力のある是正措置を取って景観保護して欲しい。</p>
町民参加の まちづくり	<p>今回の様なアンケートのように、まちづくりに直接町民が関わる事ができるようになれば良いと思います。</p>